

国内グループ会社

ゼオンケミカルズ米沢

会社紹介

ゼオンケミカルズ米沢は、ファインケミカル製品の生産会社として1996年に設立され、1997年よりリーフアルコール※を主原料とした合成香料の生産を開始しました。

1998年には「ジシクロペンタジエン」を主原料とした反応射出成形用配合液の生産を開始。2006年に日本ゼオンの化学品研究棟での研究受託業務を開始。2014年には特殊触媒による反応実証プラントの稼働を開始しました。

※ リーフアルコール

C5 留分から得られる 2-Buthyne を出発原料としたグリーン系の合成香料



宮城 孝一社長



ゼオンケミカルズ米沢

環境安全活動

1. 山形労働局長 優良賞受賞

2014年10月の山形県産業安全衛生大会にて、山形労働局長 優良賞として当社が表彰されました。2009年に受賞した山形労働局長 奨励賞から5年目での快挙です。当社の安全確保対策が労働災害防止や安全衛生水準の向上等について特にその功績が認められた事業場として置賜地方の労働基準監督署管轄から推薦され受賞に至りました。



優良賞の授与を受ける当社社長

2. ヒューマンエラーによるミスオペ防止活動

当社は、8年間無事故無災害を継続しています(2015年3月現在)。2014年度社長方針「安定・安全生産の徹底追求と一人ひとりの力を結集し、組織基盤強化を推進する」を受け、未然防止活動を積極的に取り組みました。特に、今年度は「ヒューマンエラーによるミスオペ防止活動」として、各リーダー自らが講師となり勉強会、過去のミスオペ検証、ミスオペ体感訓練を実施しました。今後も創意工夫を凝らし継続して安全・環境保全活動を行っていきます。

3. 環境関連データ

2012 年度以降、毎年、実験設備を増設し続けているため、電力使用量増加に伴いエネルギー使用量が増加し、あわせて CO₂ 換算係数の変更により CO₂ 排出量も増加しています。

ゼオンケミカルズ米沢(株)		2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	2	5	4	7	5
	使用量(トン)	1,231	1,897	1,773	1,642	1,759
	排出量(トン)	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	87	186	187	202	206
	埋立処分量(トン)	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		-	14	10	9	14
CO ₂ 排出量(トン)		815	940	1,017	1,151	1,421
エネルギー使用量(原油換算、kL)		455	505	439	490	591

地域との共生活動

1. 地域清掃の実施

地域貢献活動の一環として、米沢八幡原工業団地周辺の環境美化活動に参加しています。春と秋に団地周辺のゴミ拾いと花壇整備を実施しました。米沢市役所所員からは、クリーン作戦のおかげで不法投棄も年々減少しているという話をお聞きして、この活動が環境美化に役立っていることが実感できました。今後も継続的に参加していきます。

2. 上杉雪灯籠まつりへの参加

上杉雪灯籠まつりは、市民参加による平和への願いを目的の一つとし、米沢市の鎮魂の丘にて献灯が行われます。当社では地域との共生活動の一環として毎年参加し、雪灯籠 2 基を作製しています。今年は、大雪があったり冬なのに雨が降ったりと不安定な気候でしたが、まつりは無事に終えることができました。



完成した雪灯籠と作製メンバー